



統計情報

KAWASAKI CITY

平成25年版

# 川崎市 統計データブック



川 崎 市

## 発刊にあたって

川崎市は、首都圏の中心に位置する強みを活かし、多くの研究開発機関や最先端の環境技術を持つ世界的な企業が立地する産業都市へ変貌しています。

こうした中、川崎市の人口は、市制を施行した大正 13 年から増え続け、平成 24 年 12 月には 144 万人を超えました。市民の誰もがいきいきと心豊かに安心して暮らせるまちづくりを進める上で、正確な統計情報は、行政運営における基礎資料として大変重要なものです。

この「統計データブック」は、「川崎市統計書(平成 24 年版)」及び「大都市比較統計年表(平成 23 年)」などから、市民生活に関わりの深い統計を中心に、分野別、体系的に整理し、グラフや解説を加えて分かりやすく編集しています。

これらの統計を通して、川崎市の推移や現況について理解を深めていただく一助となれば幸いです。

平成25年(2013年)10月

川崎市長 阿 部 孝 夫



# 平成25年版 川崎市統計データブック 目次

<b>I</b>	<b>広域拠点の変遷</b>	<b>1</b>			
1	川崎市の広域拠点	2	37	犯罪認知件数	46
2	川崎駅周辺地区	3	38	火災発生件数	47
3	小杉駅周辺地区	5	39	交通事故発生状況	48
4	新百合ヶ丘駅周辺地区	7	40	子ども・学校	49
			41	保育所の概況	50
			42	小学校・中学校の概況	50
<b>II</b>	<b>市勢データ</b>	<b>9</b>	43	福祉・健康	51
1	人口	10	44	生活保護の概況	51
2	人口の推移	11	45	出生と死亡	52
3	区別人口	12	46	着工新設住宅戸数	53
4	人口の自然増減と社会増減	13	47	建て方別住宅の概況	54
5	年齢別人口	14	48	選挙	55
6	区別昼夜間人口比率	15	49	財政	56
7	労働力状態	16	50	市民意識	57
8	外国人住民人口	17		「川崎市のへそ(人口重心)」	58
9	婚姻と離婚	18		～平成22年国勢調査結果から～	58
10	事業所	19	<b>III</b>	<b>大都市データ</b>	<b>59</b>
11	区別の産業別事業所数	20	1	人口・世帯数及び面積	60
12	区別の産業別従業者数	21	2	人口動態	60
13	産業の構造	22	3	年齢別人口	61
14	区別の民営事業所	23	4	就業者数	61
15	従業者規模別の概況	24	5	事業所	62
16	資本金階級別の概況	25	6	工業	62
17	農業	26	7	商業	63
18	農業の推移	27	8	貿易	63
19	区別の農業概況	28	9	住宅	64
20	工業	29	10	消費者物価地域差指数	64
21	工業の推移	30	11	市民経済計算	65
22	区別の工業概況	31	12	治安及び災害	65
23	業種別の概況	32		「ちょっと一服」	66
24	従業者規模別の概況	33		連続記録を持つ統計	66
25	商業	34		～大都市比較統計年表から～	66
26	商業の推移	35	<b>IV</b>	<b>川崎市近隣市区データ</b>	<b>67</b>
27	卸売業の概況	36	1	川崎市近隣市区地図	68
28	小売業の概況	37	2	データ一覧	69
29	区別の卸売業・小売業	38	<b>V</b>	<b>基礎データ</b>	<b>71</b>
30	大型小売店の概況	39	1	川崎市	72
31	産業・生活	40	2	川崎区	73
32	海上出入貨物	41	3	幸区	73
33	卸売市場	42	4	中原区	74
34	賃金・労働時間	43	5	高津区	74
35	一般雇用保険	44	6	宮前区	75
36	一般職業紹介状況	45	7	多摩区	75
	経済活動別市内総生産		8	麻生区	76
	水道				
	下水道				
	市バスの運輸状況				
	主要駅の1日平均乗車人員				
	ごみの処理状況				

## 利用上の注意

統計表中の符号の用法は次のとおりです。

「〇」、「0.0」……単位未満

「—」……皆無又は定義上該当数字がないもの

「▲」……マイナス又は比較減を表わす

「X」……該当数字はあるが発表をさしひかえたもの

「…」……数字が得られないもの